

第210回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成27年7月9日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人  
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)  
古磯 勝子 (副委員長)  
早川 富美子  
青木 敬信  
畠山 大  
町田 明久

(2) 欠席委員の氏名 君島 理恵

(3) 放送事業者側出席者 大森 敏秋 (代表取締役社長)  
佐藤 望 (放送部長)  
古寺 雄史 (放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

この4月から放送をスタートした新ワイド番組「Join-T」について、試聴と意見交換を行った。

事業者

この番組は、「栃木を“ツナグ”(Join)」をコンセプトに、昼と夜を”繋ぐ”月曜から木曜の夕方6時台に、ニュース・スポーツ・イベント・地域情報・天気予報・交通情報など、栃木とリスナーを”繋ぐ”情報発信にウエイトを置いた構成で展開している生ワイド番組です。

さらに曜日ごとに、栃木県内の4種目のプロスポーツチームの選手を生ゲストに迎え、お話を伺っています。

## 【 番 組 の 試 聴 】

委員：

番組全体を通して、トークのテンポも軽快で、言葉が自然と入ってきた。  
それぞれのコーナーのBGMの選曲もよく、とても楽しく聴けた。

委員：

実力ある2人のパーソナリティは、いずれも滑舌が流暢で、声も落ち着いていて聞き易い。  
特に、渡辺さんは、話の間の取り方が絶妙で、また、話す相手のテンポに合わせて、  
自身の話すスピードを変えてみるなど、パーソナリティとしてレベルの高さを感じた。

委員：

渡辺さんの読むニュースは、とても聞き易い。  
また、バンダイミュージアムの館長に話を伺った際も、その内容を分かりやすく伝えていた。  
岡田さんのトークも、都会的な雰囲気を感じさせ、心地が良かった。

委員：

「Join-T」というネーミングセンスも良く、「ツナグ」という番組コンセプトも至る所で  
表現されていた。

委員：

この番組のタイトルやコンセプトは、どのようにして決まったのか？

事業者：

タイトルに関しては、スタッフ間でアイデアをまとめ、表記も「Join-T」とした。  
この番組の直前に編成しているワイド番組「RBZ」とコンセプトを完全に区別し、  
18時台に情報コーナーを集約し、新たな番組として編成し直した。  
夕方の時間帯は多くのスポンサーからの出稿希望があり、どうしてもコーナーものを数多く  
編成せざるをえず、詰め込み感は否めない。それをどうリスナーに届けていくかが課題だ。  
「Join-T」では、実際にパーソナリティが現地に行って自らの目で見たと情報を伝えていく  
ことを基本にしている。

委員：

情報満載のそれぞれのコーナーは、その内容も濃く、放送を聴いて、現地に行ってみたくなった。  
歌レッスンのコーナーは、着眼点が良い、なるほどと思える指導をしていた。  
紅茶の話題もとても勉強になる情報だった。

委員：

帰宅時、車内でのリスニングスタイルを想定した番組で、夕方の時間帯の気分合う、とても  
良質な番組だ。  
「仕事や家事の時間」から、「暮らし・趣味の時間」へと気分が動く時間帯の放送として、  
取り上げている情報も質も良いのだが、全体的には、取り立てて印象に残るものがなかった。  
この平日夕方という時間は、他局も含めて総じて情報番組を放送している。  
それらの番組との線引きになるようなアクセントを何か、今後、番組の中に付け加えてほしい。

委員：

地域情報がいっぱい、「つなぐ」というコンセプトも、とてもよい。

さらに、番組の最後などで「明日、こういうことがある」といった情報を付け加えられれば、明日にも「つなぐ」ことが出来、番組のコンセプトがより伝わると思う。

(以上)

(2) その他

なし

(3) 次回開催日程について

次回の開催を9月3日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 7月26日(日)午後9時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし